

美郷町認知症早期発見事業 「気づきの輪」協定締結式

9月19日、美郷町役場にて美郷町認知症早期発見事業「気づきの輪」協定締結式が実施されました。

この協定は、事業者の協力により認知症の早期発見を目指すとともに、地域の支え合い、気づき合いの輪の推進につなげていくねらいがあります。

■協力事業者

・ 澁谷理容所 ・ 有限会社 新田商店 ・ 有限会社 ミサトフーズ



～いつまでもお元気で～ 美郷町敬老会

ことしも、美郷町敬老会が9月23日は美郷町南体育館、9月24日は美郷町北体育館と美郷町中央体育館を会場にそれぞれ開催され、満75歳以上の方3,905人が招待されました。

各会場では美郷町長寿番付の発表や、ことし新たに敬老会に招待された方々が誕生した昭和16年、17年の出来事が紹介されました。その後、あべ十全氏による健康講話「元気にとよむ十か条の実践」や、園児たちのお遊戯が披露され、来場者の皆さんを楽しませてくれました。



美郷町の偉人がミュージカルに 「びっくり理一郎～坂本東嶽とやす 秋田が生んだ最強夫婦の物語～」制作発表

10月3日、坂本東嶽邸にてわらび座によるミュージカル「びっくり理一郎～坂本東嶽とやす 秋田が生んだ最強夫婦の物語～」の制作発表が行われました。

江戸から明治への転換期を駆け抜けた坂本理一郎(東嶽)と妻のやすの物語をエネルギーに描いたというこのミュージカル。公演はわらび座にて、ことしの12月3日から予定しています。また、美郷町出身である高橋真里子さんも出演します。ぜひご覧ください。



高橋真里子さん▶



ご長寿おめでとうございます 菅原キヨエさんが100歳に

10月9日、満100歳の誕生日を迎えられた菅原キヨエさんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。

当日は、ご家族や施設の利用者の皆さんが菅原さんを祝福。肉より魚を好んで食べるという菅原さんは、長生きの秘訣を「人を選ばず相手に合わせて会話を楽しむこと」と語っていました。これからも元気で過ごしてください。

支え合って50年 金婚をお祝いの会

10月17日、美郷町公民館で「金婚をお祝いの会」が開かれ、ことしで結婚50年となるご夫婦19組が出席しました。

会では、町内のコーラスグループによるお祝いの歌につづき、松田町長により、出席したご夫婦一組一組に記念品が手渡されました。

これからも二人仲良く元気にお過ごしください。



第7回 町議会 臨時 議会

議員改選後初の町議会（平成29年第7回議会臨時会）が10月4日に開かれ、正・副議長の選出や常任委員会委員の選任など新たな議会構成を決めました。

本会議では正・副議長の選挙が行われ、議長に澁谷俊二氏（四ツ谷）、副議長に熊谷隆一氏（土崎北部）が選出されました。各常任委員会等の構成については11月1日発行の「議会だより」をご覧ください。



議長
澁谷 俊二 氏



副議長
熊谷 隆一 氏



「薬樹の森づくり活動」植樹事業に参加する松田町長

コラム 風

「先祖返りへの危惧」

美郷町長 松田知己

収穫の秋も最終コーナーに入りました。今年は何年とちよつと違う意地悪な雨の降り方で、収穫作業は泣かされたものと思えます。異常気象を連発する今年、どうやら雨の降り方も異常なようです。

そうした気象経過の影響なのか分かりませんが、今年は鉢植えの美郷雪華で気になる現象が発生しました。花の命である「色」について、です。ご承知の

ように美郷雪華はうっすらピンクの白色系ラベンダー品種ですが、今年供給された株の一部でピンク色が濃い花が見つかりました。すわ「美郷桃華に名称変更か」と、冗談とも真面目とも付かぬことを考える始末でしたが、笑うに笑えない話です。

生物に詳しい方はご存じだと思いますが、植物には先祖返りという現象があります。先祖の形質に逆戻りする現象です。白色から紫色に戻ってしまったらどうしようかと心配したわけですが、それは絶対に阻止しなければなりません。そこで今後の種苗増殖、色を意識して選抜を行い、先祖返りを排除していくよう調整した次第です。

さてこの先祖返りという現象、植物のみならず人間社会でもあり得ます。過去に戻っちゃいましたという事例です。しかしその大半は、残念ながら喜べない

結果になるものと思います。なぜなら、植物における進化論よろしく、人の社会対応の進化も環境に適合する方向に進むわけで、過去に戻るということは即ち「現在と未来の環境に適合していけない」という結論に至る可能性が高いからです。

無論そのことは農業においても同様です。転作制度の廃止を受けて、今後自由に水稻を作付したいとの話があるようですが、これは稲作に関する先祖返りです。供給過剰が改善されていない中で先祖返りするとどうなるか。結果は明らかです。高品質で相対取引先が決まっていたとしても、過剰が発生する限り、程度は別にして必ず米価に跳ね返るのが市場原理です。農家の皆様には集荷団体等の意向を踏まえながら、先々を見据えた対応をお願いしたいと思います。

最近、どうも自分（達）中心の保護主義的な動きや事柄が多いように思います。歴史を紐解くと紛争はこうした状況で発生しているようです。歴史に学べば、やはり先祖返りには危惧が付いて回ります。